至 誠 の 泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行　校長　佐野　正
令和２年度　１１月号
１１月6日発行

今年度も、【至誠】…〔真心を尽くす〕本校の校訓　【致知】…〔知識を極める〕　【鍛錬】…〔心身を強く鍛える〕の精神を学校経営方針の柱として、「チーム双葉中」で生徒、教職員、保護者が一体となって取り組んでいきたいと思います。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

学校教育目標　【主体的に学び、心身ともに健やかで、人間性豊かな生徒の育成】

みんなで考え、工夫して成功させた　「第57回誠樹祭」！

年間計画では９月に実施予定だった「第５７回誠樹祭」が１０／２８（水）．１１／５（木）に、みんなで力を合わせて無事に終わりました。
テーマ「凛旋」の元に、全校生徒で、できることに精一杯取り組んで、とても充実した２日間となりました。
両日とも、感染症対策の一つとして、３年生の保護者一人のみの観覧制限をしましたが、ご協力の程ありがとうございました。

体育部門

誠樹祭１日目１０／２８の体育部門は、天候もスポーツ日和で、爽やかな雰囲気で開催されました。
長縄跳びから各学年競技、綱引き、全校ソーラン、全員リレーに、練習時間の限られた中、一生懸命に練習してきた成果を十分に発揮していました。

今年度は、五色に色分けをして、色対抗の綱引きやフープ渡し、代表リレーと新しい取組ができたことも素晴らしいと思いました。

文化部門

誠樹祭２日目１１／５の文化部門は、学級旗紹介や壁画序幕などでスタートしました。

１年生は、学年劇「　　」と叫びました。を発表しました。　心優しい王子様を助ける旅に出た姫と愉快な仲間たちが１年生らしく楽しく演じていました。
２年生は、９つのチームに分かれて、パフォーマンスを発表しました。それぞれが趣向を凝らしていました。
科学部や吹奏楽部も、今まで発表の機会がなく、とても大変でしたが、３年生にとっては、これが最後の発表、演奏となりました。おつかれさまでした。

３年生は、学年劇「砂の記憶」を発表しました。沖縄戦の悲惨な出来事を全員がすごい迫力で演じてくれました。迫真の演技に会場が静まりかえって、感動していました。
舞台装置や音響、照明などの完成度が高く、役者たちをみんなで陰の力として盛り上げていたので、本当に素晴らしい発表となりました。さすが、３年生です。

閉祭式では、映像で振り返ることにより、もう一度、その瞬間毎の感動がよみがえり、心に刻むことができました。

生徒会本部を中心に、みんなでまず誠樹祭を実施することを考え、工夫しながら全校が一つになって取り組み、大成功の誠樹祭となりました。実施できて、生徒みんなの頑張りを見ることができて、本当に良かったです。

たくさんの感動をありがとうございました。
誠樹祭を成し遂げたという自信を、一人一人がこれからの生活に是非とも、生かしてほしいと思います。

「チーム双葉中」

生徒４４７名と教職員が、保護者や地域の方々と共に
「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337
電 話：0551-28-2019　　FAX：0551-28-5689

ホームページ　http://www.city-kai.ed.jp/fchu/　も併せてご覧ください。